

平成 25 年度「中央区地域活性化支援事業」評価シート

団体名： ホームタウンを話し合う会

事業名称： Let's Enjoy SOGA スタンプラリー-2013

		評価項目	評価	評価の理由・具体的な状況
1	実施した事業の評価	計画どおり事業が実施できたか	B	<p><事業目的> ジェフユナイテッド市原・千葉を活用し、蘇我駅周辺を活性化する。また、「ホームタウン蘇我」をアピールする。</p> <p><事業の実施状況等> 目的達成のため、事業計画に記載のある「スタンプラリー」を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月中旬 : ホームページで告知 ・8月1日～10月20日 : スタンプラリー実施 ・10月18、19、20日 : 抽選会
2		事業目的が達成されたか、または、実施した事業の成果が事業目的の達成につながっているか	B	事業の実施を通じ、商店街間の交流ができた。
3		事業の成果は、地域課題の解決や地域の活性化といった制度の目的に寄与するものであったか	B	「スタンプラリー」を実施したところ、グローボに来客者が集中してしまったため、当該事業は、蘇我地区の商店街活性化への寄与は不十分であった。
4	団体の活動に対する評価	事業の実施をきっかけとして、団体の活動を周知するためのPRが積極的に行われたか。	B	公民館・蘇我コミュニティセンター・蘇我駅・参加店舗等にポスター等の掲示を行うとともに、ホームページ等のメディアを活用する等、限られた予算の範囲内で、可能な限り周知を行った。

		評価項目	評価	評価の理由・具体的な状況
5	団体の活動に対する評価	団体の活性化が進んだか。	B	事業の実施をきっかけとして、商店間の交流が図られ、団体の活性化につながるよう、努めていた。
6		団体に、事業もしくは団体としての活動を発展、継続させるための動きがあるか	B	事業の継続方法等を含め、定期的に会合を開いている。

評価欄には、**A、B、C**のいずれかを記入し、「評価の理由・具体的な状況」欄には評価の裏付けとなった事象など評価の根拠となった事柄を記入してください。

上の表に書いた事項のほかに「地域づくり」、「団体の成長」、「市や区との連携」「まちづくり活動の人材育成」という視点で事業を振り返ったときに、特に記載すべき事項があれば書いてください

平成25年度「中央区地域活性化支援事業」評価シート

団体名： 葛城中学校区を元気にする会

事業名称： 地域活性化支援事業

		評価項目	評価	評価の理由・具体的な状況
1	実施した事業の評価	計画どおり事業が実施できたか	B	<p><事業目的> 少子化に伴い、子供たち及び若者が住みたくなる街にするため、地域の住民が積極的に参加でき、楽しめるイベントの企画を構築する</p> <p><事業の実施状況等> おおむね、計画どおり事業を実施したと思われる。</p>
2		事業目的が達成されたか、または、実施した事業の成果が事業目的の達成につながっているか	B	短期事業に位置付けされている「盆踊り大会」の活性化に結び付くための活動を実施しており、申請時の事業目的は達成されたと思われる。
3		事業の成果は、地域課題の解決や地域の活性化といった制度の目的に寄与するものであったか	B	各種業種の実施をきっかけに、地域のネットワークが構築され、地域課題解決に寄与することを期待したが、現時点においては、発展途上にある。
4	団体の活動に対する評価	事業の実施をきっかけとして、団体の活動を周知するためのPRが積極的に行われたか。	B	町内会を活用し、当該事業を周知できたと思われる。

		評価項目	評価	評価の理由・具体的な状況
5	団体の活動に対する評価	団体の活性化が進んだか。	B	当該事業を実施する団体の構成員間の親睦が図れた。
6		団体に、事業もしくは団体としての活動を発展、継続させるための動きがあるか	B	当該事業を継続するための会合を定期的に行っている。

評価欄には、A、B、Cのいずれかを記入し、「評価の理由・具体的な状況」欄には評価の裏付けとなった事象など評価の根拠となった事柄を記入してください。

上の表に書いた事項のほかに「地域づくり」、「団体の成長」、「市や区との連携」「まちづくり活動の人材育成」という視点で事業を振り返ったときに、特に記載すべき事項があれば書いてください

平成 25 年度「中央区地域活性化支援事業」評価シート

団体名： 千葉寺第 2 メリーポピンズの会

事業名称： 花と緑で地域をハッピーに！

		評価項目	評価	評価の理由・具体的な状況
1	実施した事業の評価	計画どおり事業が実施できたか	B	<p><事業目的> 地域の方々との花壇作りを通じ、高齢者と独居の方々のいこいの場を作る。</p> <p><事業の実施状況等> 事業目的を計画通りに実施できたと思われる。</p>
2		事業目的が達成されたか、または、実施した事業の成果が事業目的の達成につながっているか	B	<p>「花づくり・花壇づくりを通じ、住民の交流を図る」という、申請時に掲げた目的を達成することができたと思われる。</p> <p>また、事業成果は、事業目的の達成に向けた一歩として十分な内容であったと思われる。</p>
3		事業の成果は、地域課題の解決や地域の活性化といった制度の目的に寄与するものであったか	B	<p>「住民の人間関係の希薄化」の問題に対し、「花づくり・花壇づくりを通じ、住民の交流を図る」という、目的を達成していると思われるため、制度の目的に寄与するものであったと勘案できる。</p>
4	団体の活動に対する評価	事業の実施をきっかけとして、団体の活動を周知するためのPRが積極的に行われたか。	B	<p>知り合い・自治会を介してPRが行われるなど、小規模な周知が行われた。</p>

	評価項目	評価	評価の理由・具体的な状況
5	団体の活性化が進んだか。	B	事業の実施をきっかけとして外部との交流への意欲はあったが、団体の活性化につながる具体的な成果はなかった。
6	団体に、事業もしくは団体としての活動を発展、継続させるための動きがあるか	B	具体的な計画はないが、継続、発展に向けた相談等を受けている。

評価欄には、**A、B、C**のいずれかを記入し、「評価の理由・具体的な状況」欄には評価の裏付けとなった事象など評価の根拠となった事柄を記入してください。

上の表に書いた事項のほかに「地域づくり」、「団体の成長」、「市や区との連携」「まちづくり活動の人材育成」という視点で事業を振り返ったときに、特に記載すべき事項があれば書いてください

「中央区地域活性化支援事業」評価シート

団体名： 千葉市社会福祉協議会生浜地区部会

事業名称： 「みんなで見守る町づくり・生浜」

		評価項目	評価	評価の理由・具体的な状況
1	実施した事業の評価	計画どおり事業が実施できたか	B	<p><事業目的> 「要援護者に対する“見守り”」と「“災害時の支援”児童を犯罪や交通事故から守る」ための現状把握を行う。</p> <p><事業の実施状況等> 事業目的を計画通りに実施したと思われる。</p>
2		事業目的が達成されたか、または、実施した事業の成果が事業目的の達成につながっているか	A	地域の現状・課題を分析し、次に繋げたことから、申請時の事業目的は達成されたと認められる。
3		事業の成果は、地域課題の解決や地域の活性化といった制度の目的に寄与するものであったか	A	地域の現状・課題を分析することで、地域課題の解決に繋がると思われるため、制度の目的に寄与するものであったと勘案できる。
4	団体の活動に対する評価	事業の実施をきっかけとして、団体の活動を周知するためのPRが積極的に行われたか。	B	事業への参加者・協力者を増やすとともに、自団体の活動をPRするため、地区部会広報誌等を活用した周知が行われた。

		評価項目	評価	評価の理由・具体的な状況
5	団体の活動に対する評価	団体の活性化が進んだか。	A	事業の実施をきっかけにして、協力員の積極的な活動や住民の関心度が高くなる等、具体的な成果が見られた。
6		団体に、事業もしくは団体としての活動を発展、継続させるための動きがあるか	A	平成25年度の活動内容をふまえ、より具体的な見守り活動を行うための事業計画を策定している。

評価欄には、**A、B、C**のいずれかを記入し、「評価の理由・具体的な状況」欄には評価の裏付けとなった事象など評価の根拠となった事柄を記入してください。

上の表に書いた事項のほかに「地域づくり」、「団体の成長」、「市や区との連携」「まちづくり活動の人材育成」という視点で事業を振り返ったときに、特に記載すべき事項があれば書いてください

「中央区地域活性化支援事業」評価シート

団体名： 第9地区町内自治会連絡協議会

事業名称： 地域が運営する支え合いの避難所づくり

		評価項目	評価	評価の理由・具体的な状況
1	実施した事業の評価	計画どおり事業が実施できたか	B	<p><事業目的> 第9地区町内自治会連絡協議会内の各避難所に「避難所運営委員会」を立ち上げ、避難所開設訓練を行う。</p> <p><事業の実施状況等> 当初の計画は実施できたと認められる。</p>
2		事業目的が達成されたか、または、実施した事業の成果が事業目的の達成につながっているか	A	各避難所に立ち上げた「避難所運営委員会」の委員による実訓練を行い、問題点等を検討することで次につなげられたため、申請時の事業目的は達成されたと認められる。
3		事業の成果は、地域課題の解決や地域の活性化といった制度の目的に寄与するものであったか	A	書面だけではなく、実訓練を通じ、避難所の実態を理解することで、運営マニュアルの見直しを図るとともに地域に密着した避難所づくりを行う機会となったと認められる。
4	団体の活動に対する評価	事業の実施をきっかけとして、団体の活動を周知するためのPRが積極的に行われたか。	B	町内自治会の回覧及び口コミを活用したPRが行われた。

		評価項目	評価	評価の理由・具体的な状況
5	団体の活動に対する評価	団体の活性化が進んだか。	A	事業の実施をきっかけとして、防災対策課・中央区地域振興課と積極的に情報交換を行うとともに第9地区連協及び各町内自治会と連携を行った。
6		団体に、事業もしくは団体としての活動を発展、継続させるための動きがあるか	A	より良い事業実施を目指すべく、具体的に次年度の計画を策定している。

評価欄には、**A、B、C**のいずれかを記入し、「評価の理由・具体的な状況」欄には評価の裏付けとなった事象など評価の根拠となった事柄を記入してください。

上の表に書いた事項のほかに「地域づくり」、「団体の成長」、「市や区との連携」「まちづくり活動の人材育成」という視点で事業を振り返ったときに、特に記載すべき事項があれば書いてください

「中央区地域活性化支援事業」評価シート

団体名： 都地区町内自治会連絡協議会

事業名称： 都地区見守り隊

		評価項目	評価	評価の理由・具体的な状況
1	実施した事業の評価	計画どおり事業が実施できたか	B	<p><事業目的> 都地区の環境・防犯・防災を目的とした見守り活動を行うことで、地域の環境・安心・安全維持向上を図る。</p> <p><事業の実施状況等> 6月・9月・3月に説明会等を実施し、見守り活動を実施するなど、おおむね計画どおり事業を実施したと認められる。</p>
2		事業目的が達成されたか、または、実施した事業の成果が事業目的の達成につながっているか	B	説明会等を通じ、一定の成果は上がったが目的の達成まであと一歩だったと勘案される。
3		事業の成果は、地域課題の解決や地域の活性化といった制度の目的に寄与するものであったか	B	「見守り」の方向性等を検討するなど、制度の方向性とは一致していたが、寄与度は低かったと勘案される。
4	団体の活動に対する評価	事業の実施をきっかけとして、団体の活動を周知するためのPRが積極的に行われたか。	B	自治会への回覧・口コミを通じてPRが行われるなど、小規模な周知が行われた。

		評価項目	評価	評価の理由・具体的な状況
5	団体の活動に対する評価	団体の活性化が進んだか。	B	事業の実施をきっかけとして外部との交流を行うとともに外部との交流を行ったが、団体の活性化につながる具体的な成果はなかった。
6		団体に、事業もしくは団体としての活動を発展、継続させるための動きがあるか	B	具体的な計画はないが、継続、発展に向けて検討を進めている。

評価欄には、**A、B、C**のいずれかを記入し、「評価の理由・具体的な状況」欄には評価の裏付けとなった事象など評価の根拠となった事柄を記入してください。

上の表に書いた事項のほかに「地域づくり」、「団体の成長」、「市や区との連携」「まちづくり活動の人材育成」という視点で事業を振り返ったときに、特に記載すべき事項があれば書いてください

「中央区地域活性化支援事業」評価シート

団体名： コロボックルの森

事業名称： コロボックルの森プレーパーク

		評価項目	評価	評価の理由・具体的な状況
1	実施した事業の評価	計画どおり事業が実施できたか	A	<p><事業目的> 公園や市民の森など身近な自然の中で、子供たちがのびのびと過ごせる場をすることで、子どもたちの豊かな育ちを支援する。</p> <p><事業の実施状況等> 計画では概ね平日週1回で支援を計画していたが、「毎週水曜日」及び「月1回週末」に実施するとともに、月1回程度プレーリーダーを依頼し、毎回10~20組程度の参加があるなど、事業は計画以上の成果があったと思われる。</p>
2		事業目的が達成されたか、または、実施した事業の成果が事業目的の達成につながっているか	A	「子どもの豊かな育ちをサポートし、親も楽になる、子育てが楽しく、人の輪を広げる場が、身近な場所にもほしい。」という、申請時の事業目的は多くの方が参加することで、達成されたと認められる。
3		事業の成果は、地域課題の解決や地域の活性化といった制度の目的に寄与するものであったか	A	「信頼できる子育て仲間」の輪や「異年齢ともだちの輪」ができたことで、子育てしやすい街になると考えられるため、制度の目的に寄与するものであったと認められる。
4	団体の活動に対する評価	事業の実施をきっかけとして、団体の活動を周知するためのPRが積極的に行われたか。	A	ホームページ・フェイスブック等の「WEB」やきぼーる・リラックス館等の子育て施設での「チラシ」の配布等、様々な媒体を活用した積極的なPRが行われた。

	評価項目	評価	評価の理由・具体的な状況
5	団体の活性化が進んだか。	A	事業の実施をきっかけにして、外部との交流に向けた積極的な動きがあり、具体的な成果（例：信頼できる子育て仲間の形成・異年齢ともだちの輪）が見られた。
6	団体に、事業もしくは団体としての活動を発展、継続させるための動きがあるか	A	事業の継続・発展のため、具体的な計画を立てている。また、子ども未来局の「プレーリーダー」制度の活用を図るなどし、事業の継続・発展が期待できる。

評価欄には、**A、B、C**のいずれかを記入し、「評価の理由・具体的な状況」欄には評価の裏付けとなった事象など評価の根拠となった事柄を記入してください。

上の表に書いた事項のほかに「地域づくり」、「団体の成長」、「市や区との連携」「まちづくり活動の人材育成」という視点で事業を振り返ったときに、特に記載すべき事項があれば書いてください

「中央区地域活性化支援事業」評価シート

団体名： 西千葉バル実行委員会（西千葉マロニエ商店街）

事業名称： 西千葉バル

		評価項目	評価	評価の理由・具体的な状況
1	実施した事業の評価	計画どおり事業が実施できたか	B	<p><事業目的></p> <p>(1) 西千葉を周知することで各店舗の売上向上につなげる。</p> <p>(2) 空き店舗の解消、人気店の誘致</p> <p><事業の実施状況等></p> <p>「西千葉バル」を実施するという事業は、ほぼ計画どおりに実施したと認められる。</p>
2		事業目的が達成されたか、または、実施した事業の成果が事業目的の達成につながっているか	B	<p>当該事業実施後、「売上が向上した」店舗が増えていること及び空き店舗が減少したことから、申請時の事業目的は達成されたと認められる。</p>
3		事業の成果は、地域課題の解決や地域の活性化といった制度の目的に寄与するものであったか	B	<p>「商店会員」「商店会同士の交流」という商店街の課題も解決できるよう検討した結果、「会員数の増加」・「交流の場に若手が参加するようになる」等の成果があったため、制度の目的に寄与するものであったと認められる。</p>
4	団体の活動に対する評価	事業の実施をきっかけとして、団体の活動を周知するためのPRが積極的に行われたか。	A	<p>ホームページ・フェイスブック等の「WEB」や町内自治会の回覧、近隣地区へのチラシ配布等、様々な媒体を活用した積極的なPRが行われた。</p>

	評価項目	評価	評価の理由・具体的な状況
5	団体の活性化が進んだか。	B	「会員数の増加」・「交流の場に若手が参加するようになる」等の具体的な成果があったため、当該事業は団体の活性化につながったと勘案できる。
6	団体に、事業もしくは団体としての活動を発展、継続させるための動きがあるか	C	具体的な計画はないが、継続・発展に向けて検討をしている。

評価欄には、**A、B、C**のいずれかを記入し、「評価の理由・具体的な状況」欄には評価の裏付けとなった事象など評価の根拠となった事柄を記入してください。

上の表に書いた事項のほかに「地域づくり」、「団体の成長」、「市や区との連携」「まちづくり活動の人材育成」という視点で事業を振り返ったときに、特に記載すべき事項があれば書いてください

「中央区地域活性化支援事業」評価シート

団体名： 千葉市社会福祉協議会寒川地区部会

事業名称： 災害における「避難行動要支援者」の避難体制の確立

		評価項目	評価	評価の理由・具体的な状況
1	実施した事業の評価	計画どおり事業が実施できたか	B	<p><事業目的> 「避難行動要支援者」の避難体制を整え、災害時における避難支援ができるよう、各町内会での見守り活動を実施するための体制を整備する</p> <p><事業の実施状況等> おおむね、計画どおり事業を実施したと思われる。</p>
2		事業目的が達成されたか、または、実施した事業の成果が事業目的の達成につながっているか	B	事業を実施することで、災害時の避難体制の構築と見守りの必要性を再認識できたことより、申請時の事業目的は達成されたと認められる。
3		事業の成果は、地域課題の解決や地域の活性化といった制度の目的に寄与するものであったか	B	「災害時の避難体制の構築」と「見守り」は各地域の課題であるため、中央区活性化事業の制度の目的に寄与するものであったと認められる。
4	団体の活動に対する評価	事業の実施をきっかけとして、団体の活動を周知するためのPRが積極的に行われたか。	B	知り合い・自治会を介してPRが行われるなど、小規模な周知が行われた。

		評価項目	評価	評価の理由・具体的な状況
5	団体の活動に対する評価	団体の活性化が進んだか。	B	実行委員会による当該事業の説明・検討を通じ、「避難行動要支援者を含む避難訓練実施」という、成果をあげることができた。
6		団体に、事業もしくは団体としての活動を発展、継続させるための動きがあるか	B	具体的な計画はないが、継続、発展に向けた相談等を受けている。

評価欄には、**A、B、C**のいずれかを記入し、「評価の理由・具体的な状況」欄には評価の裏付けとなった事象など評価の根拠となった事柄を記入してください。

上の表に書いた事項のほかに「地域づくり」、「団体の成長」、「市や区との連携」「まちづくり活動の人材育成」という視点で事業を振り返ったときに、特に記載すべき事項があれば書いてください

「中央区地域活性化支援事業」評価シート

団体名： 千葉市社会福祉協議会蘇我地区部会

事業名称： 蘇我地区『あんしんカード』から見守りへ地域支えあい事業

		評価項目	評価	評価の理由・具体的な状況
1	実施した事業の評価	計画どおり事業が実施できたか	B	<p><事業目的></p> <p>「“自助＝自分でできることは自分で！”」</p> <p>「“共助＝地域住民同士の支え合い”」の体制づくり。</p> <p><事業の実施状況等></p> <p>おおむね、計画どおり事業を実施したと思われる。</p>
2		事業目的が達成されたか、または、実施した事業の成果が事業目的の達成につながっているか	B	<p>「“冷蔵庫保管用安心カードの配布”」「“消防署・警察署へ当該事業の実施を通知”」を行い、「自助・共助」の日常の見守り体制が構築され、申請時の事業目的は達成されたと認められる。</p>
3		事業の成果は、地域課題の解決や地域の活性化といった制度の目的に寄与するものであったか	B	<p>「見守り」は各地域の課題であるため、中央区活性化事業の制度の目的に寄与するものであったと認められる。</p>
4	団体の活動に対する評価	事業の実施をきっかけとして、団体の活動を周知するためのPRが積極的に行われたか。	B	<p>知り合い・自治会を介してPRが行われるなど、小規模な周知が行われた。</p>

		評価項目	評価	評価の理由・具体的な状況
5	団体の活動に対する評価	団体の活性化が進んだか。	B	当該事業を実施するにあたり、地区部会の会議を定例化したことにより、「社会福祉協議会蘇我地区部会」が地域より多く認識されるようになった。 また、地域イベントにおいて「社会福祉協議会蘇我地区部会」のPRを行った。
6		団体に、事業もしくは団体としての活動を発展、継続させるための動きがあるか	B	具体的な計画はないが、継続、発展に向けた相談等を受けている。

評価欄には、**A、B、C**のいずれかを記入し、「評価の理由・具体的な状況」欄には評価の裏付けとなった事象など評価の根拠となった事柄を記入してください。

上の表に書いた事項のほかに「地域づくり」、「団体の成長」、「市や区との連携」「まちづくり活動の人材育成」という視点で事業を振り返ったときに、特に記載すべき事項があれば書いてください

「中央区地域活性化支援事業」評価シート

団体名： 千葉市社会福祉協議会東千葉地区部会

事業名称： 東千葉地域の見守り体制づくり

		評価項目	評価	評価の理由・具体的な状況
1	実施した事業の評価	計画どおり事業が実施できたか	B	<p><事業目的> 「日常生活から安否確認や声かけなどを行い、災害時においても機能するよう、地域の見守り体制づくりの構築を目指す」事業</p> <p><事業の実施状況等> おおむね、計画どおり事業を実施したと思われる。</p>
2		事業目的が達成されたか、または、実施した事業の成果が事業目的の達成につながっているか	B	<p>見守り体制を立ち上げるため、以下のことを行った。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ol style="list-style-type: none"> 1 アンケート調査・ニーズ把握及び分析 2 今後の見守り活動や地域活動について検討 3 見守り協力者への研修実施 </div> <p>見守り体制が整い、平成26年4月より見守りがスタートしたため、事業目的は達成されたと認められる。</p>
3		事業の成果は、地域課題の解決や地域の活性化といった制度の目的に寄与するものであったか	B	「見守り」は各地域の課題であるため、中央区活性化事業の制度の目的に寄与するものであったと認められる。
4	団体の活動に対する評価	事業の実施をきっかけとして、団体の活動を周知するためのPRが積極的に行われたか。	B	知り合い・自治会を介してPRが行われるなど、小規模な周知が行われた。

		評価項目	評価	評価の理由・具体的な状況
5	団体の活動に対する評価	団体の活性化が進んだか。	B	事業の実施をきっかけとして外部との交流への意欲はあったが、団体の活性化につながる具体的な成果はなかった。
6		団体に、事業もしくは団体としての活動を発展、継続させるための動きがあるか	B	具体的な計画はないが、継続、発展に向けた相談等を受けている。

評価欄には、**A、B、C**のいずれかを記入し、「評価の理由・具体的な状況」欄には評価の裏付けとなった事象など評価の根拠となった事柄を記入してください。

上の表に書いた事項のほかに「地域づくり」、「団体の成長」、「市や区との連携」「まちづくり活動の人材育成」という視点で事業を振り返ったときに、特に記載すべき事項があれば書いてください

「中央区地域活性化支援事業」評価シート

団体名： 大森町さつき防犯パトロール隊

事業名称： 各家庭と町全体の防犯意識の高揚を図る

		評価項目	評価	評価の理由・具体的な状況
1	実施した事業の評価	計画どおり事業が実施できたか	B	<p><事業目的> 各家庭と町全体の防犯意識の高揚を図るため、防犯に取り組む体制を整える。</p> <p><事業の実施状況等> おおむね、計画どおり事業を実施したと思われる。</p>
2		事業目的が達成されたか、または、実施した事業の成果が事業目的の達成につながっているか	A	「防犯プレートの作成」や「町内会の防犯のための巡回」を行うことで、「防犯強化をし、安全に暮らせる町にする」「住人どうしが防犯意識を高め、自分達の町は自分で守る」という動機づけがされ、申請時の事業目的は達成されたと認められる。
3		事業の成果は、地域課題の解決や地域の活性化といった制度の目的に寄与するものであったか	A	事業を実施することにより、「町内会の防犯のための巡回」から「地域の見守り」に派生したこと、及び「町内会の防犯のための巡回」がケーブルテレビの取材を受けるなどの成果が見られたことから、制度の目的に寄与するものであったと認められる。
4	団体の活動に対する評価	事業の実施をきっかけとして、団体の活動を周知するためのPRが積極的に行われたか。	B	月1回開催される定例会及び口コミ等の小規模な周知が行われた。

		評価項目	評価	評価の理由・具体的な状況
5	団体の活動に対する評価	団体の活性化が進んだか。	A	事業の実施をきっかけにして、外部との交流に向けた積極的な動きがあり、例えばケーブルテレビから取材を受ける等動きが見られた。 また、女性会員による独居老人の見守りが開始された。
6		団体に、事業もしくは団体としての活動を発展、継続させるための動きがあるか	B	具体的な計画はないが、継続、発展に向けた相談等を受けている。

評価欄には、**A、B、C**のいずれかを記入し、「評価の理由・具体的な状況」欄には評価の裏付けとなった事象など評価の根拠となった事柄を記入してください。

上の表に書いた事項のほかに「地域づくり」、「団体の成長」、「市や区との連携」「まちづくり活動の人材育成」という視点で事業を振り返ったときに、特に記載すべき事項があれば書いてください

「中央区地域活性化支援事業」評価シート

団体名： 本町二丁目防犯推進する会

事業名称： 地域防犯推進事業

		評価項目	評価	評価の理由・具体的な状況
1	実施した事業の評価	計画どおり事業が実施できたか	B	<p><事業目的> 犯罪が事前に抑止でき、安心して暮らせる町をつくり本町二丁目に住みたいと思う地域にしたい</p> <p><事業の実施状況等> 「防犯プレート等の作成」や「町会内の防犯のための巡回」を行う等、おおむね計画どおり事業を実施した。</p>
2		事業目的が達成されたか、または、実施した事業の成果が事業目的の達成につながっているか	B	「防犯プレート等の作成」や「町会内の防犯のための巡回」を通じ、「犯罪が事前に抑止でき、安心して暮らせる町をつくり、本町二丁目に住みたいと思う地域にしたい」という、申請時の事業目的は達成されたと認められる。
3		事業の成果は、地域課題の解決や地域の活性化といった制度の目的に寄与するものであったか	B	「ご近所防犯活動」は地域課題の解決の事業であるため、制度の目的に寄与するものであったと認められる。
4	団体の活動に対する評価	事業の実施をきっかけとして、団体の活動を周知するためのPRが積極的に行われたか。	B	月1回開催される定例会及び口コミ等の小規模な周知が行われた。

		評価項目	評価	評価の理由・具体的な状況
5	団体の活動に対する評価	団体の活性化が進んだか。	B	事業の実施をきっかけとして外部との交流への意欲はあったが、団体の活性化につながる具体的な成果はなかった。
6		団体に、事業もしくは団体としての活動を発展、継続させるための動きがあるか	B	具体的な計画はないが、継続、発展に向けた相談等を受けている。

評価欄には、**A**、**B**、**C**のいずれかを記入し、「評価の理由・具体的な状況」欄には評価の裏付けとなった事象など評価の根拠となった事柄を記入してください。

上の表に書いた事項のほかに「地域づくり」、「団体の成長」、「市や区との連携」「まちづくり活動の人材育成」という視点で事業を振り返ったときに、特に記載すべき事項があれば書いてください

「中央区地域活性化支援事業」評価シート

団体名： 第16地区コミュニティづくり懇談会

事業名称： 地域活動拠点としての「ひだまり」の運営および「ひだまり」での健康相談

		評価項目	評価	評価の理由・具体的な状況
1	実施した事業の評価	計画どおり事業が実施できたか	B	<p><事業目的> 地域活動拠点としての「ひだまり」の運営および「ひだまり」での健康相談事業を実施することで、地域コミュニティの高揚を目指す</p> <p><事業の実施状況等> 「ひだまり」の活動内容は、地域活動の主要団体が集まる「松ヶ丘円卓会議」の場において定期的に活動報告が行われている。</p>
2		事業目的が達成されたか、または、実施した事業の成果が事業目的の達成につながっているか	B	「ひだまり」の活動内容は、地域活動の主要団体が集まる「松ヶ丘円卓会議」の場において定期的に活動報告が行われていることから、申請時の事業目的は達成されていると認められる。
3		事業の成果は、地域課題の解決や地域の活性化といった制度の目的に寄与するものであったか	B	当該事業で運営している、地域活動拠点としての「ひだまり」の存在が周知されたことに伴い、利用者が伸びてきていることから、制度の目的に寄与していると認められる。
4	団体の活動に対する評価	事業の実施をきっかけとして、団体の活動を周知するためのPRが積極的に行われたか。	A	地域活動の主要団体が集まる「松ヶ丘円卓会議」・各種学校等での「チラシ」配付、町内自治会での回覧、ホームページへの掲載、口コミ等により周知が行われた。

		評価項目	評価	評価の理由・具体的な状況
5	団体の活動に対する評価	団体の活性化が進んだか。	A	「ひだまりが」地域の交流スペースとして、活用されており、地域の活性化に繋がったのではないかと勘案される。
6		団体に、事業もしくは団体としての活動を発展、継続させるための動きがあるか	A	平成25年度の運営実績に基づき、運営費等の問題点を整理するとともに、さらなる集客方法・周知方法等を検討している。

評価欄には、**A、B、C**のいずれかを記入し、「評価の理由・具体的な状況」欄には評価の裏付けとなった事象など評価の根拠となった事柄を記入してください。

上の表に書いた事項のほかに「地域づくり」、「団体の成長」、「市や区との連携」「まちづくり活動の人材育成」という視点で事業を振り返ったときに、特に記載すべき事項があれば書いてください